

## オリバー！（1968）

OLIVER!

メディア 映画

ジャンル ミュージカル

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 146分

初公開日 1968/10/09

公開情報 COL

## 【解説】

おなじみディケンズ『オリバー・ツイスト』のミュージカル劇の映画化で、「小さな恋のメロディ」で世界的な人気を得る前のM・レスターがタイトル・ロールを愛らしく好演。19世紀初頭のロンドンの貧民窟。救貧院の一室で一人の女が男の赤ちゃんを産み落として死んでいく。坊やはオリバーと名付けられ、やがて、飢えた仲間たちのため抗議をして孤児院を追い出されるほど利発な少年に成長。葬儀屋の手伝いに僅かの金で売り飛ばされた彼だが、すぐそこを逃げ出し、スリの少年ドジャーと知り合い、彼らの仲間入り。親方フェイギン、悪どいビル、紅一点のナンシーが孤児の彼らを率いる。初仕事の相手はブラウンロー氏という老紳士。彼の悪事に気づき、この健気な少年をすっかり気に入ってしまい、自宅に引き取ることに。こざっぱりした服装に着替えた少年は見違えるよう。すっかり小公子然としている。だが、そんな素敵な暮らしも束の間、ビルとナンシーに見つかったオリバーは隠れ家に連れ戻された。一方、ブラウンロー氏はオリバーが自分の孫である事実を知った。それを知らされたナンシーは彼の許に少年を返そうとして、ビルに殺されてしまうが、ビルもまた警官の銃弾に倒れた。かくしてフェイギンも捕らえられ、スリの少年たちも解放された……。リードはこの映画の演出でオスカーの監督賞を得たが、それはこの手の健全なミュージカルへの観客の飢えを反映してのことだろう。映画自体それほどの出来でもなく、ナンバーやダンスに傑出したものも少ない。ただ、時代色をうまく出した美術とO・モリスの撮影は評価されてよいだろう。

## 【クレジット】

監督	キャロル・リード	Carol Reed
原作	チャールズ・ディケンズ	Charles Dickens
脚本	ヴァーノン・ハリス	Vernon Harris
撮影	オズワルド・モリス	Oswald Morris
美術	テレンス・マーシュ	Terence Marsh
音楽	ジョン・グリーン	John Green
	ライオネル・バート	Lionel Bart
出演	マーク・レスター	Mark Lester
	オリヴァー・リード	Oliver Reed
	ロン・ムーディ	Ron Moody
	シャニ・ウォリス	Shani Wallis
	ジャック・ワイルド	Jack Wild
	シーラ・ホワイト	Sheila White
	レナード・ロシター	Leonard Rossiter